

キッズ・モニター＋アンケート

第3回テーマ

「子どもの居場所（いばしょ）について」

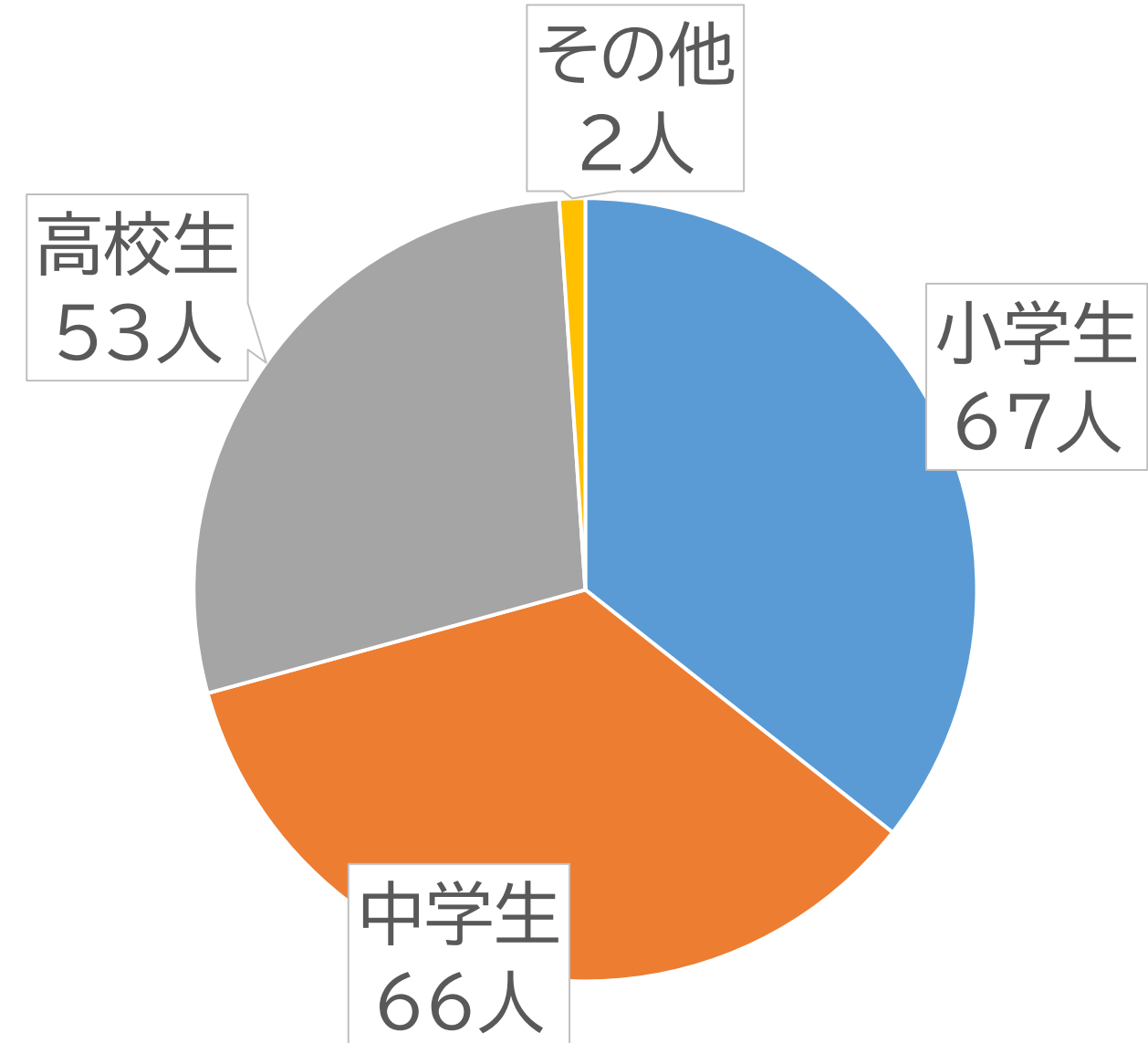


1. 実施期間	令和7年8月8日（金）～令和7年8月29日（金）
2. 回答者数	188人
3. 回答率	32.8%（188人 / 574人）
4. 実施方法	インターネットによるモニター調査（ちょうさ）
5. 担当課	少子化対策課（しょうしかたいさくか）

みなさんに聞いたこと

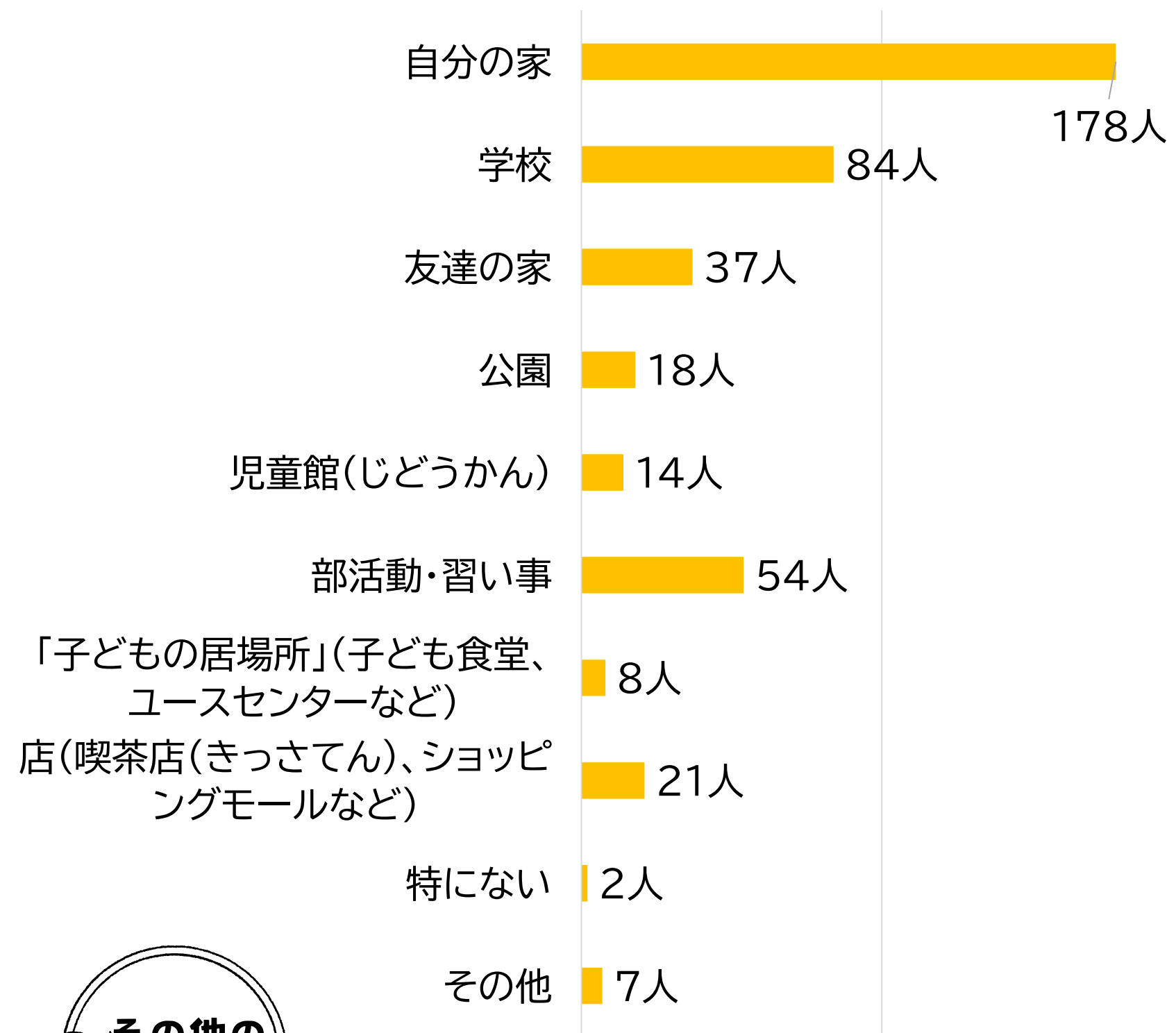
1. 安心して過ごせる居場所について
2. 居場所での過ごし方について
3. 安心して過ごせる居場所の数について
4. 地域にある子ども食堂（しょくどう）などの「子どもの居場所」について
5. 「子どもの居場所」に行きたい理由は？
6. 「子どもの居場所」に行かない理由は？
7. 「お金がかからないか、安い値段（ねだん）でごはんが食べられて、自由に過ごせる場所」が近くにあったら行ってみたいですか？
8. 行ってみたい「居場所」とはどんなところ？
9. 曜日（ようび）や時間帯（じかんたい）について

回答していただいたみなさんの年代



回答していただいたみなさん、ありがとうございました！

1. あなたが安心して過ごせる居場所はどこですか？



その他の意見

・「祖父母の家」
・「図書館」

・「今入院しているから、病院」
・「放課後等デイサービス」など

担当課より

安心して過ごせる居場所について、いちばん多かったのは「自分の家」で、ほとんどの子が家でほっとできていることがわかります。

しかし、家が安心できる場所じゃないと感じている人も少しだけいました。

さらに、「どこにも安心できる場所がない」と答えた子も2人いました。

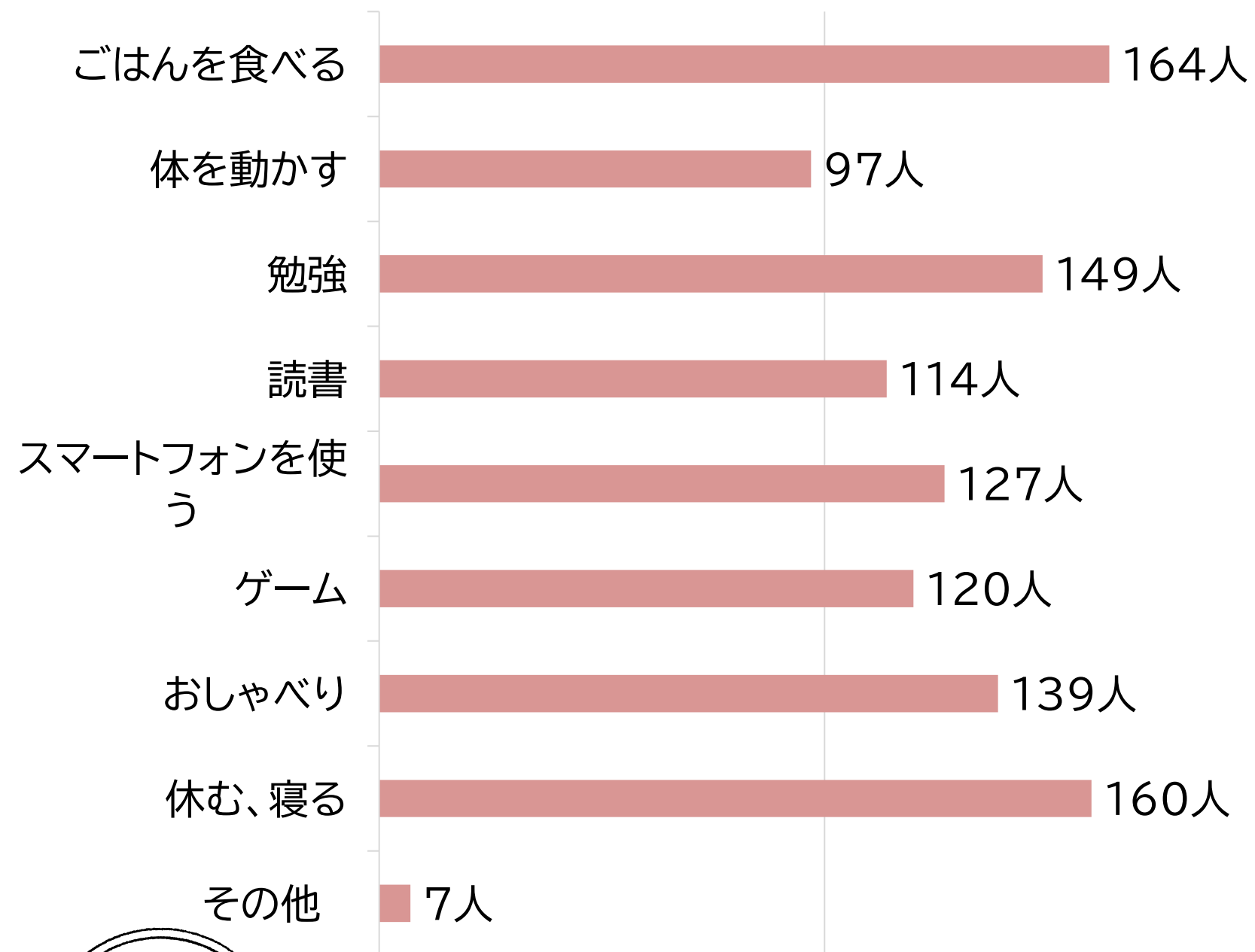
また、「子ども食堂」や「ユースセンター」などの「子どもの居場所」と呼ばれる場所を“安心できる”と答えた子は、8人だけでした。

まだその存在が知られていなかったり、行ったことがなかったりするのかもしれませんが。

だからこそ、こうした場所があることをもっと知ってもらい、安心して過ごせる場所として広げていけるよう、取り組んでいきたいと思います。



2. 居場所ではどんなふうに過ごしていますか？



その他の意見

・「部活」 ・「レゴ」 ・「カードゲーム」
・「ものづくり」 ・「居場所がないので書けない」 など

担当課より

居場所での過ごし方について、いちばん多かったのは「ごはんを食べる」でした。



「休む・寝る」、「勉強」、「おしゃべり」なども多く、安心できる場所では、心も体もゆっくりできることがわかります。

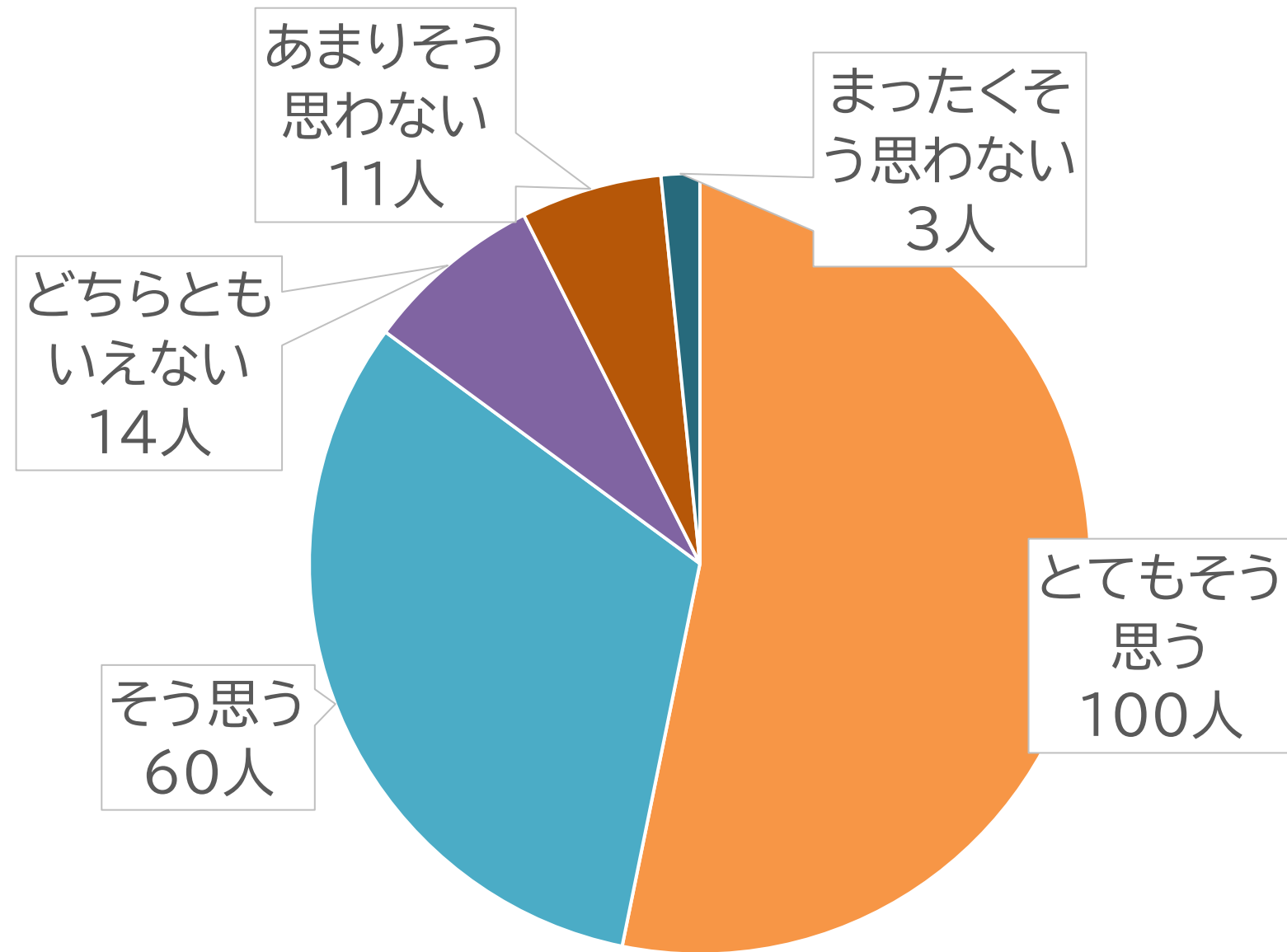


また、「スマートフォンを使う」や「ゲーム」、「読書」、「体を動かす」など、自分の好きなことやリラックスできていることをしている子もたくさんいました。



こうした結果から、居場所では自分らしく過ごせる時間を大切にしていることが見えてきます。

3. 安心して過ごせる居場所はじゅうぶんにあると思いますか？



担当課より

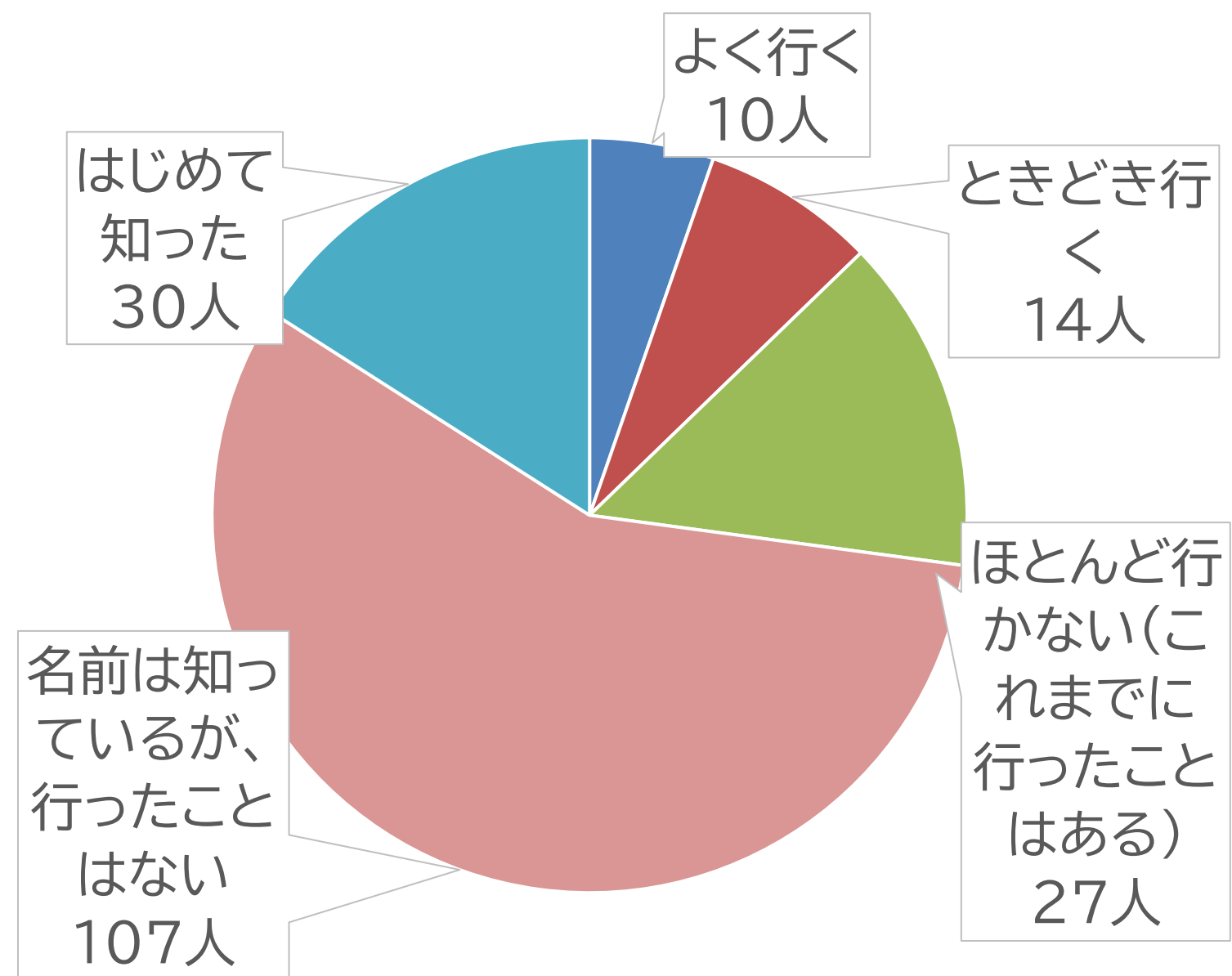
アンケートでは、188人のうち160人が「安心して過ごせる居場所はじゅうぶんにある」と答えてくれました。これはとても心強い結果です。

しかし、28人の子どもたちは、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と答えています。

これは居場所がじゅうぶんにあるとは感じていない子が、7人に1人の割合でいるということです。

「居場所がある」と感じている子が多い一方で、そう感じられない子も確かにいるということを重く受け止めました。

4. 地域にある子ども食堂などの 「子どもの居場所」に行ったことがありますか？



担当課より

この結果から、「子どもの居場所」について名前を知っている人は多いものの、実際に行ったことがある子は少ないことがわかります。

名前を知っていても、行くきっかけがなかったり、どんな場所かよくわからなかったりするのかもしれない。

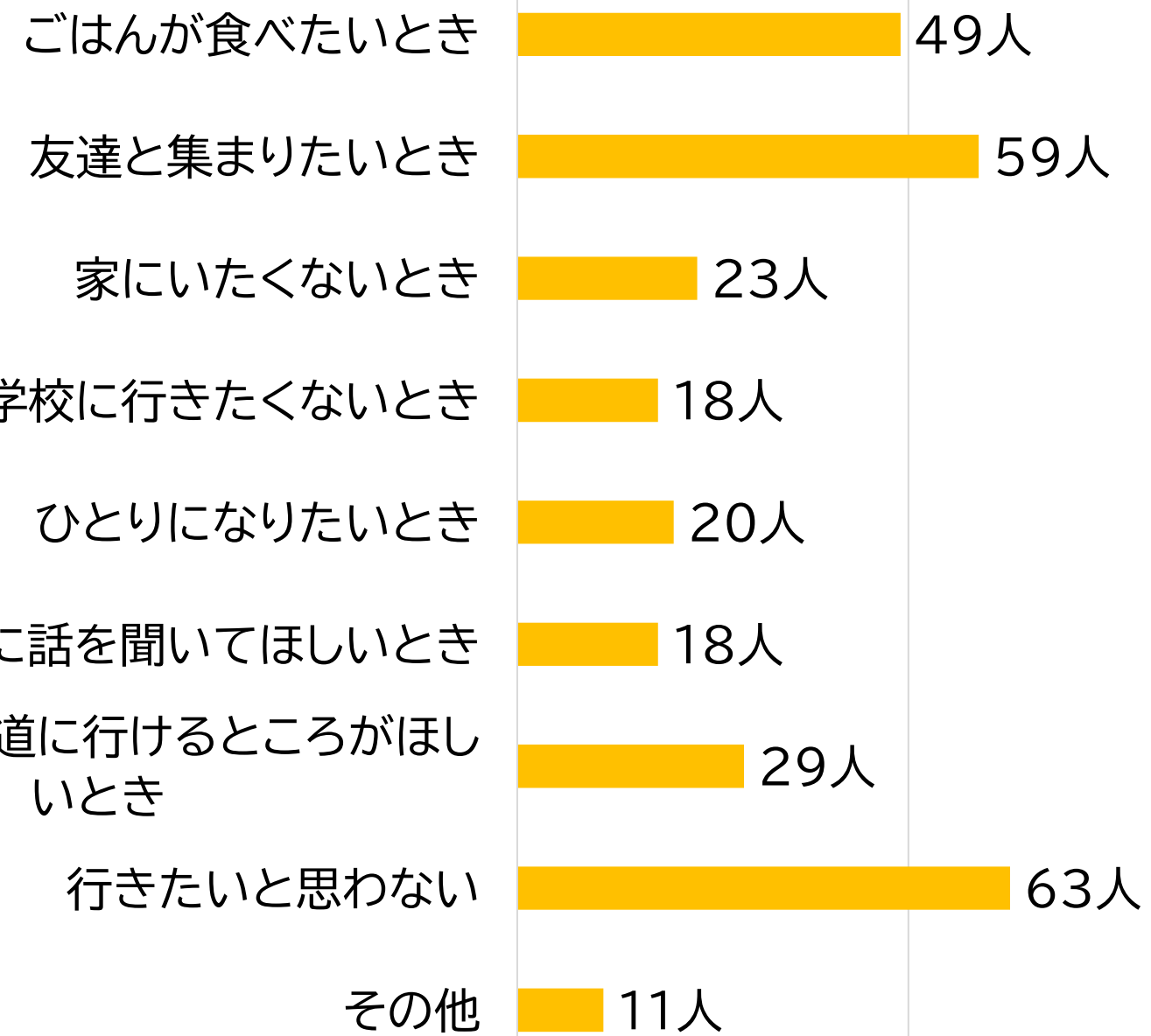
➤➤ 子どもの居場所が「ある」だけでなく、「行ってみようかな」と思えるようなきっかけづくりが大切であると考えます。



そのためには、場所のことをもっとわかりやすく伝えたり、行きやすい雰囲気をつくったり、みなさんの声を聞きながら工夫していく必要があります。

これからも、みなさんが安心して過ごせる居場所をもっと身近に感じてもらえるように取り組んでまいります。

5. 「子どもの居場所」に行きたいのはどんな時？



その他の意見

- ・「お手伝い」 ・「ボランティア」
- ・「どんなところなのか、一度行ってみたい」
- ・「お母さんがいない時さみしいから」
- ・「ご飯が食べれない時」 など

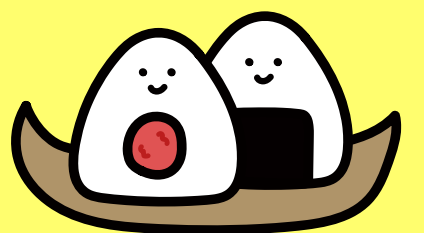
担当課より

「友達と集まりたい」「ごはんが食べたい」など、気軽に過ごしたいときに居場所を求める子が多く見られました。

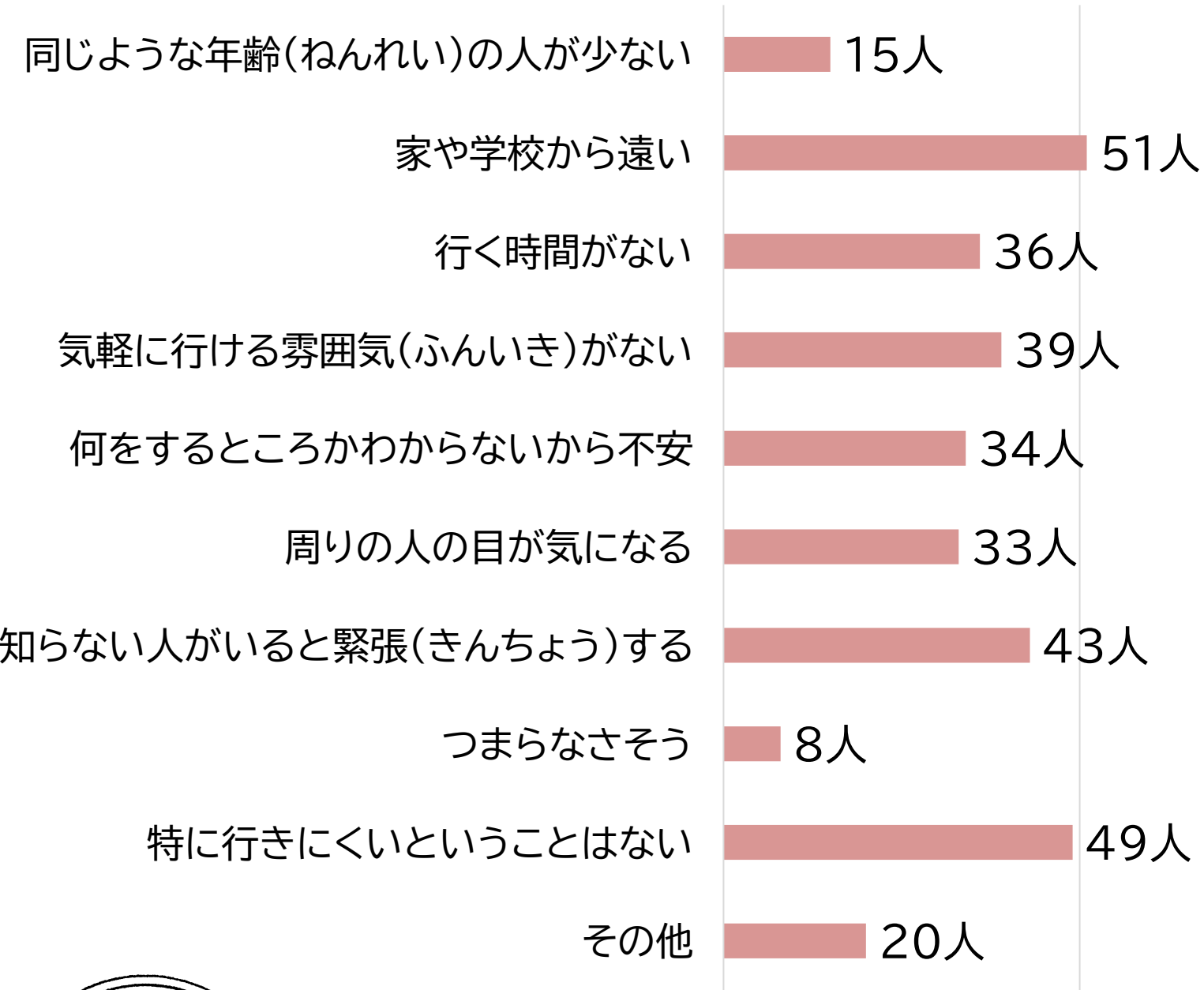
また、「家にいたくない」「学校に行きたくない」など、苦しい気持ちのときに居場所を求める子も一定数います。

一方で、「行きたいと思わない」と答えた子も、多くいました。

この結果は、すでに安心して過ごせる場所が充分にあるため、「子どもの居場所」を必要と感じていない子がいる可能性もあることを示しています。



6. 「子どもの居場所」に行きにくい理由は？



その他の意見

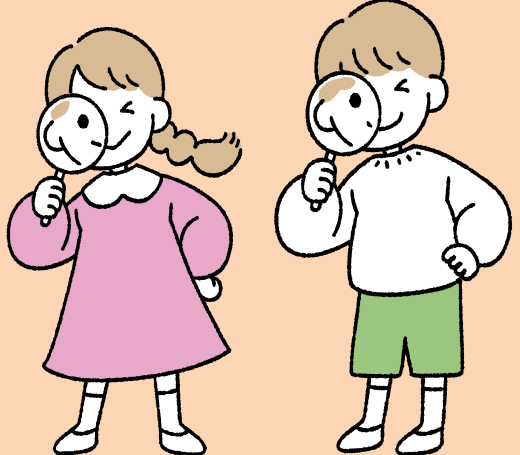
- ・「食物アレルギーがあり、提供されるメニューが食べられないから」
- ・「どこにあるのか知らない」
- ・「行く必要がない」
- ・「地域に子ども食堂がない」
- ・「勉強したいから」
- ・「家がたのしい」 など

担当課より

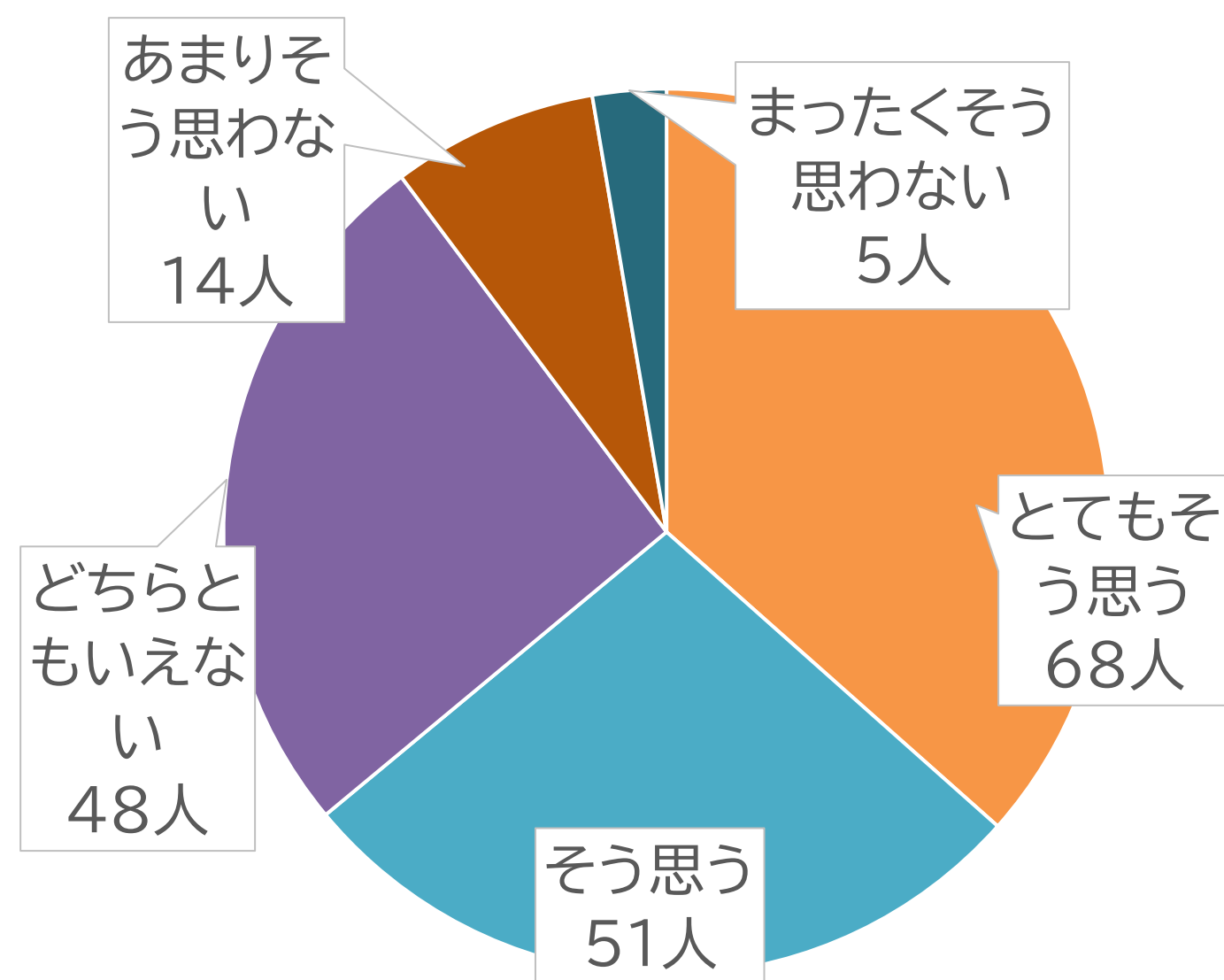
この結果から、「遠い」「緊張する」「雰囲気が気になる」「何をするかわからない」など、物理的な距離や気持ちの面でのハードルがあることがわかります。

一方で「特に行きにくいとは思わない」と答えた子も多くいて、すでに行きやすいと感じている子もいるようです。

これからも、みんなが「ちょっと行ってみようかな」と思えるような多様でオープンな居場所づくりに取り組んでまいります。



7. 「お金がかからないか、安い値段でごはんが
食べられて自由に過ごせる場所」が
近くにあったら、行ってみたいですか？



担当課より

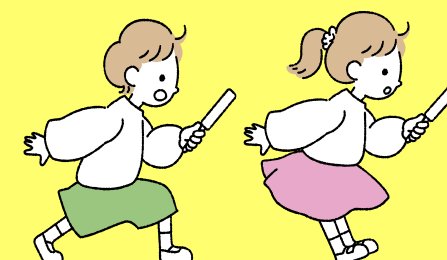


この結果から、約6割以上の人
「そんな場所があったら行ってみたい」と
感じていることがわかります。

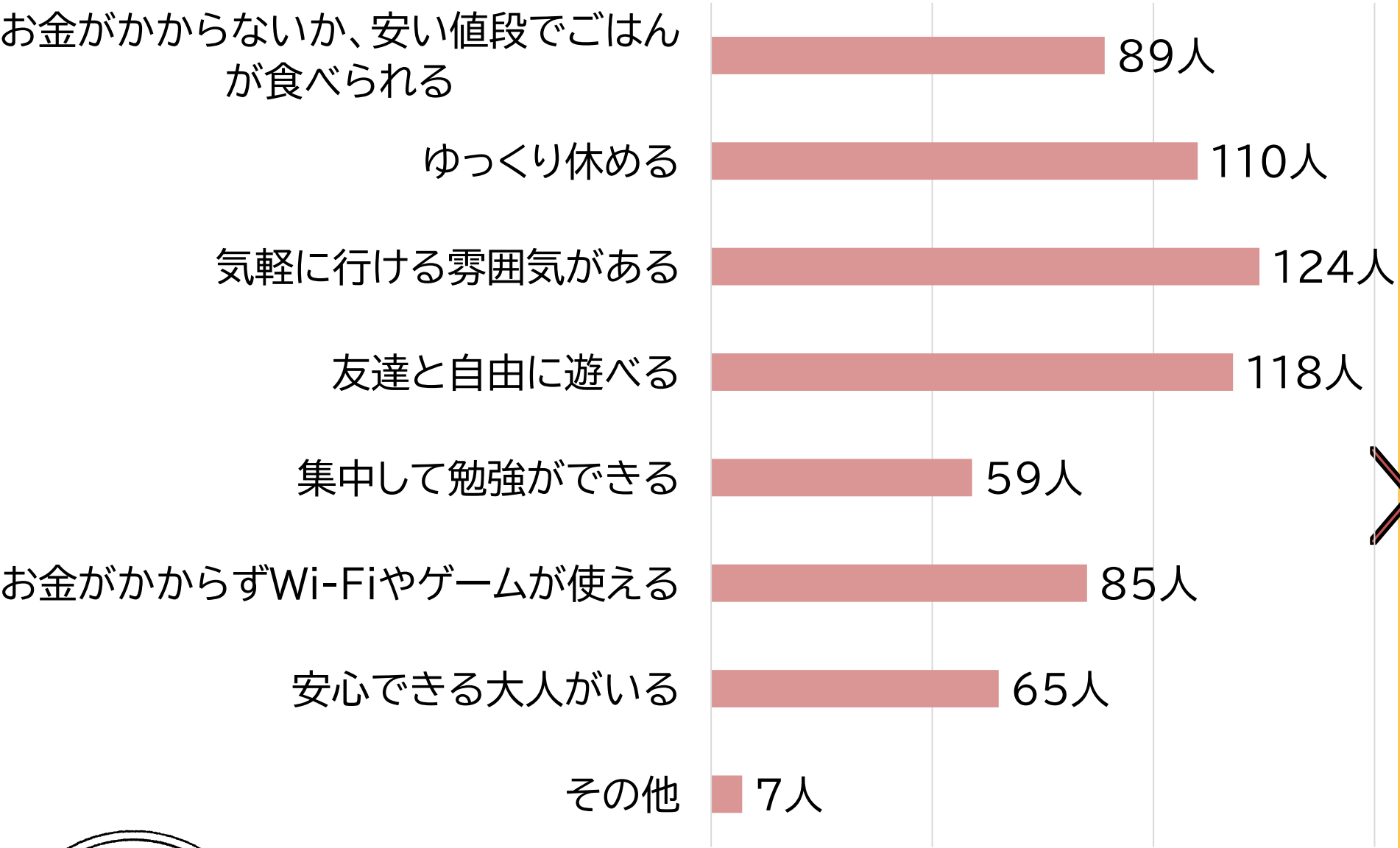
実はこの質問で言っている場所は、
代表的な「子どもの居場所」の子ども食堂のことです。

＞＞それをあえて名前を出さずに聞いたことで、
子ども食堂という言葉だけでは伝わっていない
可能性や、居場所のイメージがまだ十分に
広がっていないことも見えてきました。

子どもたちが「行ってみたい」と思えるようにする
ためには、子どもの居場所がどんな場所なのかを、
もっとわかりやすく伝えていくことが大切であると
感じました。



8. どんな「居場所」なら行ってみたいと思いますか？



その他の意見

- ・「無料で絵を描いたりギターを弾いたりジュースを飲んだりアイスを食べたりボードゲームをしたりできる。」
- ・「友達とはしゃいでも他の人の邪魔になりにくい。」
- ・「楽しく遊べる」
- ・「何かが学べる場所、実験とか」
- ・「家から近い」
- ・「衛生管理がしっかりしている」 など

担当課より

この結果から、みなさんは
気軽に行けて自由に過ごせる場所 を
求めていることがわかりました。

遊びや休憩ができて、お金の心配がいらず、
安心できる大人がいることも大切にされています。

勉強よりも、
リラックスや交流を重視する傾向が見られ、

みなさんにとっての「行きたくなる居場所」とは、
そんな 安心感 と 楽しさ が
そろった場所なのだと感じました。



9. 「子どもの居場所」に行きたい曜日や時間帯は？



その他の意見

- ・「年末年始」
- ・「自分がひまになった時」
- ・「行きたいと思った時、随時」
- ・「行ってみたいと思うときはない」 など

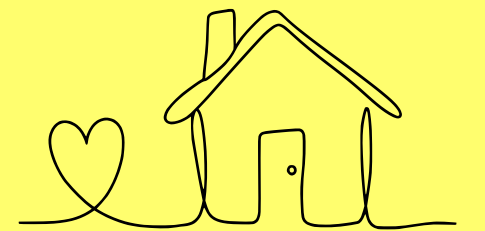
担当課より

この結果から、子どもたちは「長い休み」や「土日・祝日のお昼」に、居場所があるとうれしそうに感じていることがわかりました。

放課後や、テストのときも行きたいと思っている子はいますが、

時間にゆとりがあるときに、のんびり過ごせる場所を求めているようです。

毎日開いていることよりも、「行きたいときに開いている」ことが大切であると感じました。



**みなさんの回答やいただいた意見は、
少子化対策課が受け取りました。**

**今回のアンケートでいただいた声は、
これから「こどもの居場所づくり」に取り組んでいくときに、
みんなの「ほんとうはこうしてほしい」という気持ちとして、
大いに活用していきます。**

たくさんの
ご意見を
ありがとう
ございました



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！

みえ次世代育成応援
マスコットキャラクター
みっふる